

1	[木]		休 映 日	
2	[金]		休 映 日	
3	[土]		休 映 日	
4	[日]		休 映 日	
5	[月]		休 館 日	
6	[火]		休 映 日	
7	[水]		14:00 ○二十四の瞳	
8	[木]	11:00 ○女の園	14:00 ○独立愚連隊西へ	
9	[金]	11:00 ○ルパン三世 念力珍作戦	14:00 ○海底軍艦	
10	[土]	11:00 ○大盗賊	14:00 ○仮面ライダー対 ショッカー／ キングコングの逆襲	17:00 ◇全身小説家
11	[日]	11:00 ○海底軍艦	14:00 ○女の園	
12	[月祝]	11:00 ○独立愚連隊西へ	14:00 ○二十四の瞳	
13	[火]		休 館 日	
14	[水]		休 映 日	
15	[木]	11:00 ○肉弾	14:00 ○仮面ライダー対 ショッカー／ キングコングの逆襲	
16	[金]	11:00 ○大盗賊	14:00 ○ミスター・ミセス・ ミス・ロンリー	
17	[土]	11:00 ○ルパン三世 念力珍作戦	14:00 ○EAST MEETS WEST	17:00 ○さらば箱舟
18	[日]	11:00 ○肉弾	14:00 ○殺人狂時代 上映後トークイベント 登壇:太田昌国氏	
19	[月]		休 館 日	
20	[火]		休 映 日	
21	[水]		14:00 ○EAST MEETS WEST	
22	[木]	11:00 ☆曼陀羅	14:00 ○殺人狂時代	
23	[金]	11:00 ☆曼陀羅	14:00 ○さらば箱舟	
24	[土]	11:00 ☆曼陀羅	14:00 ○ミスター・ミセス・ ミス・ロンリー	17:00 ○水の中の八月
25	[日]	11:00 ○勝手にしやがれ!! 黄金計画	14:00 ○クレージーメキシコ大作戦	
26	[月]		休 館 日	
27	[火]		休 映 日	
28	[水]		14:00 ○クレージーメキシコ大作戦	
29	[木]	11:00 ☆小さなボール	14:00 ○水の中の八月	
30	[金]	11:00 ☆小さなボール	14:00 ○勝手にしやがれ!! 黄金計画	
31	[土]	11:00 ☆小さなボール	14:00 ○肉弾	17:00 ◇全身小説家

○=[企画上映] 生誕100年天本英世 唯一無二の俳優が歩いた日本映画のワイルドサイド
◇=[通年上映] アーカイブ発見
☆=[通年上映] 午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

「11月のシネラ上映予告」

- 東ドイツ〈女たちの運命〉DEFA創立80周年特集＋コンラート・ヴォルフ傑作選
- アジアのニューウェーブ:フィリピン〈第二の黄金期1970-1980年代〉& インドネシア〈ガリン・ヌグロホと1990年代以降の新世代〉

Column

生誕100年を記念して、俳優の天本英世さんの出演した映画を特集します。40歳代以上の方は、晩年、テレビのクイズ番組に出演されていた印象が強いかもしれませんが「仮面ライダー」の死神博士の役が強く記憶に残っている方もいらっしゃるだろうと思います。

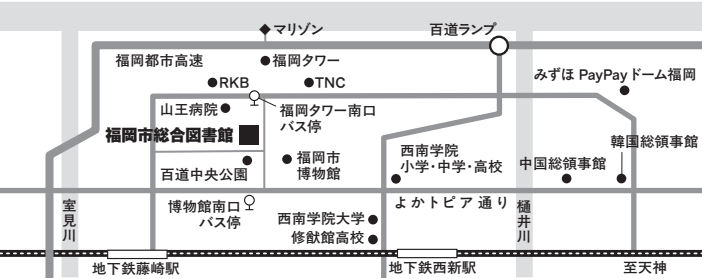
天本英世さんは、1926年、佐賀県に生まれ、福岡県若松市(現・北九州市若松区)で育ちました。旧制若松中学校を卒業し、旧制第七高等学校(鹿児島)に進学して、1945年、19歳のときに学徒徴兵を受けます。その時の理不尽な経験が、反骨の人としての人生を決定づけました。終戦後、外交官を志して東京大学に入学しますが、演劇や舞台にのめりこみ大学を中退し、俳優としての人生を歩み始めます。

俳優座の舞台を見に来ていた映画監督の木下恵介の目に留まり、今回上映する「女の園」の哲学講師役に抜擢、さらに「二十四の瞳」の高峰秀子の夫役に大抜擢されます。以後数々の映画に出演していくのですが、出演作を紐解いていくと、映画史上の傑作と呼ばれる作品を追うだけでは見えてこない、日本のプログラムピクチャーの多彩さと厚みを知ることができます。

天本さんは、フラメンコをきっかけにしてスペインに傾倒し、そしてロルカの詩をこよなく愛しました。生前20回以上スペインを訪れただけでなく、放浪していました。2003年に77歳で亡くなられた後、故人の遺志で、遺灰はスペインのグアダルキビール川源流に散撒されました。今回の会期中には、昨年末ポリビアのウカマウ集団についても講演いただいた太田昌国さんにご登壇いただき、天本英世さんとスペインについてお話いただきます。人物像を深く知るきっかけとなればと思います。

出演作品はとても多いので、上映できなかった映画もいくつかあります。そのひとつが『マタンゴ』(1963)です。今でもカルト的な人気を誇る作品で、初代「ゴジラ」(1954)の本多猪四郎監督・円谷英二特撮監督のコンビによる無人島を舞台にした特撮ホラーです。天本英世さんは「マタンゴ怪人」を演じていますが、そのトラウマ級の特殊メイクは必見です。福岡県内の映画館でも11月末から12月にかけて上映される機会(全国の映画館で開催されている「午前10時の映画祭16」)があります。クリーチャー系のホラー映画もいける方はスクリーンで上映されるこの機会に!

(学芸員・杉原)



「交通アクセス」
当館の駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。市営地下鉄／西新駅または藤崎駅下車徒歩15分 西鉄バス・博多駅、天神、西新から福岡タワー南口または博物館南口下車徒歩5分・藤崎駅から福岡タワー南口下車徒歩5分 ◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時刻、お近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話:050-3616-2150)へお問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall *Ciné-là*

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

(代表) TEL: 092-852-0600 | FAX: 092-852-0609

福岡市総合図書館ホームページ ▶「映画をみる」

https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/cinela/



発行:映像ホール・シネラ実行委員会

グリーン購入法に適合している用紙を使用しています

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall *Ciné-là*

Ciné-là NEWS

シネラニュース 10

October, 2026

VOL.342

Ciné-là

NEWS

VOL.342

シネラニュース

Fukuoka City
Public Library
Movie Hall
Ciné-là

「通年上映」
アーカイブ発見
午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

「企画上映」

生誕100年天本英世
唯一無二の俳優が歩いた日本映画のワイルドサイド

天本英世氏ポートレート〈生誕100年天本英世 唯一無二の俳優が歩いた日本映画のワイルドサイド〉

【料金】 〈生誕100年天本英世 唯一無二の俳優が歩いた日本映画のワイルドサイド〉
大人＝600円／大学生・高校生＝500円／中学生・小学生＝400円
福岡市在住の65歳以上の方・わたくすクラブ会員・障がい者の方および介護者の方1名＝300円(要証明書・会員証原本提示)

〈アーカイブ発見〉〈午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス〉
大人＝500円／大学生・高校生＝400円／中学生・小学生＝300円
福岡市在住の65歳以上の方・わたくすクラブ会員＝250円(要証明書・会員証原本提示)／障がい者の方および介護者の方1名＝無料(要証明書提示)

□ 定員入替制(242席+車椅子席4席)／当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始の30分後まで)／上映30分前に開場

「国際フィルムアーカイブ連盟」
FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFに加盟しています。

生誕100年天本英世

唯一無二の俳優が歩いた日本映画のワイルドサイド

怪人や悪役などの一癖ある役を数多く演じた俳優・天本英世（あまもと・ひでよ／1926-2003）。天本英世が出演した多彩な娯楽映画の魅力を再発見し、アウトサイダー天本英世その人に注目する。



芸術文化振興基金助成事業

10月7日〔水〕～ 31日〔土〕※休館日・休映日除く

主催：福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会 助成：芸術文化振興基金 協力：天本英世記念館をつくる会

太田昌国氏講演

10月18日〔日〕

14:00「殺人狂時代」上映後、

15:40-16:30 太田昌国氏講演

（講演は入場無料）

太田昌国（おおた・まさくに）

1943年生まれ。編集者、評論家、民族問題研究者。1960年代から70年代にかけてのラテンアメリカにおける政治的・社会的・文化的な胎動に刺激を受け、現地を旅し、ボリビアのウカマウ集団と出会い、以後協働する。スペイン語圏文化に造詣が深く、スペインをこよなく愛し、ロルカの詩に傾倒した天本英世に大きな関心を持ち続けた。



8〔木〕 11〔日〕

11 14:00



©1954 松竹株式会社

女の園

封建的な規律と厳しい干渉で学生を統制する京都郊外の名門女子大学を舞台に、自由を求める女学生たちの葛藤を描いた。不当な処分や学校側の思惑を機に、恋人との文通すら禁じられた窮屈な寮生活を送る学生たちが団結して声を上げる。抑圧された学園での自由と規律の対立をリアルに描写した。天本は、哲学の講師役で出演し銀幕デビューを果たした。

1954／日本（松竹大船）／カラー／104分／16ミリフィルム上映

7〔水〕 12〔月祝〕

14:00 14:00



二十四の瞳

昭和3年。大石久子は瀬戸内海の小豆島の分校に赴任する。生徒は1年生の12人。久子は島の生活に馴染むのに時間がかかるが、次第に子どもたちもうちとける。しかしある日子どもたちのイタズラで足を痛めて学校を休むことになる。女教師と12人の生徒の戦争をはさむ18年間を描いた感動作。随所に歌われる童謡も叙情性を高めている。名匠・木下恵介監督の代表作。

1954／日本（松竹大船）／白黒／155分／福岡市総合図書館収蔵作品
監督：木下恵介 出演：高峰秀子、夏川静江

8〔木〕 12〔月祝〕

14:00 11:00



©1960 TOHO CO., LTD.

独立愚連隊西へ

太平洋戦争の真っ最中の中国大陆を舞台にした西部劇風の活劇コメディ。日本軍からやっかいもの扱いされ、危険な前線に駆り出されてばかりの「大日本人口調節小隊」は、北支戦線で玉砕した連隊の軍旗捜索を命じられた。偽参謀となった神谷とともに敵地へ向かう。消えた軍旗捜索のために敵味方が争奪戦を繰り広げるという愚かさには、岡本喜八監督の代表作「肉弾」の反戦精神をくみ取ることができる。

1960／日本（東宝）／白黒／107分
監督：岡本喜八 出演：佐藤允、加山雄三

10〔土〕 16〔金〕

11:00 11:00



©1963 TOHO CO., LTD.

大盗賊

戦国時代。海賊の嫌疑を逃れ南シナ海へ乗り出した堺の豪商の助左衛門は、黒海賊に奪われた財宝を追いある国へ漂着する。領主羅刹王の娘・弥々姫の胸飾りに奪われた宝石を見つけた助左衛門は、近衛兵として城に潜入。国を支配しようと企む悪徳宰相の陰謀を知り、姫に協力することを誓う。円谷英二による特撮シーンなど見どころの多い冒険時代劇。

1963／日本（東宝）／カラー／97分
監督：谷口千吉 出演：三船敏郎、船戸順

2本立て上映

仮面ライダー対ショッカー

地質学者・大道寺博士が人工重力装置GXを完成させた。これを狙うショッカーの大幹部・死神博士は大道寺の娘を誘拐し、命と引きかえに設計図を渡すよう迫る。仮面ライダーを、エリート怪人ザンジオーと再生怪人軍団が待ち受ける。テレビシリーズの大ヒットを受け、「東映まんがまつり」内で公開された記念すべき劇場版シリーズ第1作。

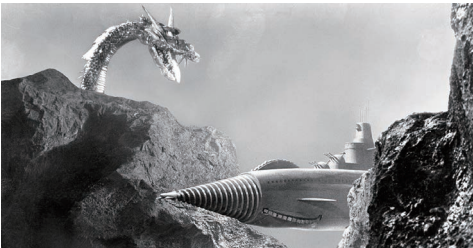


©石森プロ・東映

1972／日本（東映）／カラー／32分／DCP上映
監督：山田稔 出演：佐々木剛、小林昭二

9〔金〕 11〔日〕

14:00 11:00



©1963 TOHO CO., LTD.

海底軍艦

12000年前に沈んだムウ帝国の工作員に命を狙われた楠見と真琴。帝国は地上支配を企み、脅威となる神宮司大佐の海底軍艦製造中止を要求して世界各地を破壊する。楠見や写真家の旗中からは出動要請のため大佐の潜む南海の孤島へ急行する。押川春浪の同名原作を戦後日本に置き換え、世界征服計画という要素を加えた海洋冒険SF特撮映画。

1963／日本（東宝）／カラー／94分
監督：本田猪四郎 出演：高島忠夫、藤山陽子

10〔土〕 15〔木〕

14:00 14:00

キングコングの逆襲

ネルソン司令官、次郎、スーザンの三人は国連調査船の原子力潜水艦で海底油田の調査を行っていた。調査船の故障でモンド島に寄ったネルソンらは、巨大猿人猿キング・コングと遭遇し、コングがスーザンになつくことを知る。一方、北極の放射性物質元素X採掘を目論むドクター・フーがコングとスーザンらを捕獲。しかし拘束を破って脱出したコングは海を渡り、遂に東京へ姿を現す。



1967／日本（東宝）／カラー／104分
監督：本田猪四郎 出演：宝田明、浜美枝

25〔日〕 28〔水〕

14:00 14:00



©TOHO CO., LTD.

クレージーメキシコ大作戦

ある日、メキシコ展に展示してあった石像が何者かによって盗まれてしまった。大酒飲みの酒森進は美大生の恋人、村山絵美に頼み石像の偽物を製作、一儲けをたくらんだ。しかしそれが元で同じく石像をめぐるトラブルに巻き込まれたヤクザの清水忠治らとともにアメリカへ、更にはメキシコへ行くことに。メキシコでのロケを敢行した東宝クレージー映画史上最長の上映時間の大作。

1968／日本（東宝＝渡辺プロダクション）／カラー／161分
監督：坪島孝 出演：榎本孝、ハナ肇、浜美枝

16〔金〕 24〔土〕

14:00 14:00



©1980 市山パースル/東宝

ミスター・ミセス・ミス・ロンリー

市雄は、電柱に手錠でくくられた女・千里をひろった。そして、二人の奇妙な暮らしが始まる。ある日、二人はとある新聞記事を読み、お互いに同じ企みを持っていることを感じた。原田美枝子が「刹那」名義で、自ら原案・脚本・製作し、主演をしている。日活のエースだった神代辰巳が唯一ATGで監督した作品で、終末感漂う1980年代を描く。

1980／日本（市山パースル＝ATG）／カラー／138分
監督：神代辰巳 出演：原田美枝子、宇崎竜童

17〔土〕 21〔水〕

14:00 14:00



©1995 Shochiku / FFEIII・Kihachi Production

EAST MEETS WEST

ディレクターズカット版

1860年、開国を決意した幕府は、サンフランシスコに日米修好使節団の護衛として威臨丸を送り込む。そこには素性を隠して開国を阻止するために乗り込んだ攘夷派の健吉と艦長護衛役の御庭番・為次郎がいた。しかし船がつくやいなや一行の秘密資金が何者かに奪われ、本来ならば敵同士の健吉と為次郎がその行方を追うことに。異色のサムライ・ウェスタン・アクションコメディ。

1995／日本（松竹）／カラー／108分
監督：岡本喜八 出演：真田広之、竹中直人

15〔木〕 18〔日〕 31〔土〕

11:00 11:00 14:00



肉弾

昭和20年。ドラム缶に乗って海を漂う「あいつ」は、終戦を知らずに敵を待ち続ける。特攻隊員となった若者が作戦遂行直前に与えられた一日だけの休日に体験した瑞々しい出来事を通して、戦争の愚かさとそれによって踏みにじられた青春への思いをコミカルなタッチで痛切に描く。本作に登場する「あいつ」は岡本監督自身を戯画化したもの。

1968／日本（「肉弾」をつくる会＝ATG）／白黒／116分
監督：岡本喜八 出演：寺田農、大谷直子

17〔土〕 23〔金〕

17:00 14:00



©1984 劇団ひまわり／テラヤマ・ワールド／ATG

さらば箱舟

老人と、少年・本家の時任大作が村中の柱時計を盗んで穴に埋めている。数年後、大作は本家の主人となっていた。ある日、いとこ同士である分家の捨吉とスエが結婚した。村には、そうした血統の二人の結婚を禁じるというタブーがあった。架空の小さな村を舞台に、約一世紀にわたる一家の興亡を描く一大叙事詩。寺山修司の渾身の遺作。キネマ旬報ベスト・テン第5位。

1982／日本（劇団ひまわり＝人力飛行機＝ATG）／カラー／127分
監督：寺山修司 出演：小川真由美、原田芳雄

25〔日〕 30〔金〕

11:00 14:00



©1996 Softgarage

勝手にしやがれ!! 黄金計画

黒沢清監督、哀川翔・前田耕陽主演による娯楽アクションコメディシリーズの一作。飄々とした便利屋コンビの雄次と耕作が、ひょんなことから金の延べ棒にまつわる大騒動に巻き込まれ、強奪を目論む悪党たちと騙し合い、さらに自由奔放なヒロインに振り回されるドタバタ劇。低予算・早撮りで制作されながら、軽快なテンポが心地よいエンターテインメント作品。

1996／日本（Softgarage）／カラー／80分
監督：黒沢清 出演：哀川翔、前田耕陽

9〔金〕 17〔土〕

11:00 11:00



ルパン三世 念力珍作戦

1974年公開のルパン三世の実写アクション映画。マカ・ローニー一家と銭形警部ら警察トリオに追われるルパン三世は、銃の名手・次元大介を味方に得る。世界宝石展開催中の会場から宝石を奪うが、不二子に横取りされてしまう。さらに殺し屋に狙われて、いささか疲れたルパンは、自首して刑務所で休息することに。刑務所で不二子危機の情報を得たルパンは、早速脱獄して不二子救出に向かう。

1974／日本（東宝＝国際放映）／カラー／82分
監督：坪島孝 出演：目黒祐樹、田中邦衛

24〔土〕 29〔木〕

17:00 14:00



水の中の八月

その年、福岡は異常気象が続き、「石化病」という原因不明の奇病が流行していた。高飛び込みのオリンピック選手候補者の泉は、高校の先輩の真魚と惹かれあう。泉は飛び込みに失敗し、臨死体験の後、自然と交感できるようになったという。やがて、泉は自分が生き返ったのは世界を救うためだと悟る。石井聰互が、自主映画時代以来初めて故郷・福岡を舞台にしたファンタジックな長編映画。

1995／日本（「水の中の八月」製作委員会）／カラー／118分
監督：石井聰互 出演：小嶺麗奈、青木信輔

アーカイブ発見

作家・井上光晴の晩年を、鬼才・原一男監督が迫ったドキュメンタリー映画を上映します。

全身小説家

作家の井上光晴（1926～92）が、癌によって亡くなるまでの最後の5年間で、「ゆきゆきて、神軍」原一男が監督したドキュメンタリー。全国で彼が開いた文学伝習館での活動、生徒たちとの交流、交友があった作家仲間たちの証言などが含まれている。映画はさらに彼の子ども時代や親族などへのインタビューを通して、虚構と現実が混在する彼の経歴をスリリングに解き明かしている。

1994／日本（疾走プロダクション）／カラー／156分／35ミリフィルム上映
監督：原一男

29〔木〕

11:00

小さなボール The Little Ball Tossed by a Dwarf

キム一家は塩田を主産業とする貧しい村で慎ましく暮らしていた。ある日塩田の閉鎖が通達され、住民の立ち退き命令がでる。その代わりにマンシンの入居権が与えられるのだが、入居権は有料であり、貧しい村の人々には払えるものではなかった。経済発展の影で切り捨てられていく人々を詩情豊かに描いたイ・ウォンセ監督の代表作。

1981／韓国／カラー／102分／35ミリフィルム上映／日本語字幕付き
監督：イ・ウォンセ 出演：アン・ソンギ、チョン・ヤンジャ



30〔金〕

11:00

31〔土〕

11:00



曼陀羅 Mandala

若い禅僧ボンは仏教に対して懐疑の念で苦しんでいた。ある日ボンは中年僧のジサンと出会い、二人で旅をする。ジサンは酒を飲むなど破天荒な僧だったが、仏教者の矛盾や偽善を批判する彼の言葉にボンは真実を見出していく。イム・グォンテク監督が世界に知られるきっかけとなった作品。1981年ベルリン国際映画祭審査員特別賞受賞。

1981／韓国／カラー／110分／35ミリフィルム上映／日本語字幕付き
監督：イム・グォンテク 出演：アン・ソンギ、チョン・ムソン

【通年上映】
午前11時の
日本映画・アジア映画
Classics クラシックス

収蔵作品から日本とアジアの選りすぐりの古典映画や名作を木曜・金曜・土曜に連続して上映します。本年1月に惜しくも逝去した俳優アン・ソンギ出演の2作品を上映します。